

No.
98

いのくみよみかた だより

書 左右津安輝子

撮影／山田ミユキ



代表理事 牧口一三
まきぐち いちじ

代表が替わります。
これからもよろしくお願ひいたします。
ありがとうございました！

一九八四年八月二十日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

思えば丸二七年前の一九九五年一月一七日前五時四六分、グラグラガタガタとかつて体験したことのない激しい揺れにビックリ。前日から老いた母のアパートに泊まる日で、締め切り間際の原稿を徹夜で書き上げ、ワープロ誤植を見直し、コタツに全身を突っ込んで少し寝ようとした矢先、あわててテレビを点けると、大阪、神戸の震度だけがなくして、てっきりボクの真下が震源地と思ったのでした。

ほぼ三十分して神戸と淡路島北端の接する辺りに震度六。自宅のツレに電話、「タンスが倒れてきたが身は安全」との声にホッ、「帰りは夕方になるよ」と告げ、少し落ち着いたとたん、テレビには高速道路が一〇〇mほど倒れている画面、やっと地震の大きさを認識した時でした。午後からのM大学での予定が気になりダイヤルを回すと既に電話は通じ

INDEX

- 01** 代表が替わります。これからもよろしくお願ひいたします。ありがとうございました!
- 03** コロナになって
- 04** 東日本大震災から11年
- 06** リレー・エッセイ 災害と障害者 第七十一回
- 08** 福祉事業所の事業継続計画
- 09** 応援団からこんにちは! vol.1
- 10** カンパをいただいた団体 / 事務局のうごき
- 11** 会計報告
- 12** 各地からの風だより

ず、テレビから「公衆電話がかかりやすそう」と。松葉づえで団地内の電話ボックスへ向かいました。

外に出てみると、ロック摒が砕けていましたが、大きな変化はなく、行き来する車の数もやや少なめ、テレビ映像の厳しさとは少し違っていました。その頃、神戸・長田区界隈は火の海への始まりだったのです。公衆電話で大学の休校を知つて落ち着きを取り戻し、やっと神戸・西宮・伊丹・尼崎そして大阪の障害者仲間の状況に頭が巡つたしだいです。

市民運動仲間はいち早く「救援本部」を立ち上げ大阪市立早川福祉会館を被災障害者の避難所として確保し、神戸・西宮では「被災地障害者センター」をたちあげ情報の収集と支援活動を始めていました。誰もが即座に被災地の役に立ちたいと思つた時です。ただ仲間の速さに少し出遅れたのがボクと河野秀忠でした。二人も何かしたい、そこで考えたのが救援活動を邪魔しない「お金を集めよう」でした。お金なら何かの役に立つ!

数日後、河野が神戸に辿り着くなり「カネや金、一〇億円集めよや」と電話をくれて、「五億円でどうや」と値切るボク。彼のオーバー気味をセーブして、近畿周

辺での金集めイメージでした。が、河野は全国が視野だつたそう、スケールで負けました。だけど金集めは苦手な二人です。恥も外聞もなく、今までお世話になつた著名人に「助けてエ～」のラブコール。それが認定NPO法人ゆめ風基金の始まりです。

正式には、来る三月二〇日の第二二回定時総会で発表すべきことなのでしょうが、私が二七年間も務めましたゆめ風基金代表を辞するご報告をいたします。私どもを支えてくださる呼びかけ人のみなさま、会員のみなさま、ネットのみなさま、応援団のみなさま、静かに声援してくださいざるみなさま、ひとつの区切りですが、ほんとうにありがとうございました。心をこめてお礼申し上げます。

齡八〇を超えたあたりから、多くの場面で必要な言葉が出てこなくなり（むろん、それまで適切な発言をしてきたかと問われれば、あやしい限りですが）、適切な言葉が思い浮かばず判断が鈍つたりじるよう）。とくにゆめ風の活動がマスコミなどで報道される折、必ずカツコの中に代表名と齢が記され、その度に我に返りゾォーとするしだい。焦りだした矢

戸田さんは岐阜の人で八年ほど前の総会で理事になつてもらいました。彼と知り合つたのは一九七〇年代半ばで、お互

い松葉づえで少年期を過ごし、いまは車いすの身。少年の頃、狭くてサードが取れない三角ベースという野球に興じていた思い出（走れないで仲間にルールを教えてもらって）が共通していく、とても親しくしている人です。現在七一歳、ボクより一回り以上若くて、ゆめ風を盛り立ててくれること請け合いで。

ゆめ風は続きます。私も理事として残ります。理念は①迅速に②不平等を恐れず③役立つ金額を…を守りぬきます。また寄せていただき支援金は決してゆめ風基金のものではなく、一時的に預かりしている大切な大切なお金である、との認識を常に肝に銘じて活動していきます。どうか、これからも認定NPO法人ゆめ風基金をよろしくお願ひいたします。

コロナになつて

筋ジストロフィー A

私がコロナになったのは、2021年4月後半。第4波のアルファ株が猛威を振るい、大阪でも連日1000人以上の感染者が報告されていた頃です。

きっかけは、通所している生活介護事業所とその建物内でのクラスター。38度以上の発熱陽性者が出て、建物内関係者のPCR検査で9名の感染が発覚。うち6名は私も含めて無症状。

PCR検査は、陰性確認の為と高を括っていたら、まさかの陽性。聞いた瞬間は頭真っ白。次に浮かんだのは、5%の死。呼吸障害で肺炎になつたらヤバい。その次に療養生活のこと。入院か、自宅療養か？

入院は嫌。入院経験は数度あるけど、沈むベッドでそれこそ1ミリも身動きがとれない、大便を排泄できない、そして何より医療者側のペースで私のことを決められてしまう恐怖、等々。

自分のペースを守れ、リフトで安全安心に生活できる自宅が一番。しかしその為には24時間のヘルパー確保が必要。

今回は、無症状であること、病院も療養用ホテルも満室であること、から保健所指示で自宅療養に決定。

旧来の介護者と事業所派遣の組み合わせでのヘルパ体制ですが、既に何人かは濃厚接触者で自宅待機。結局、一から新たに24時間介護体制を組んでいくしかない。でも私の力量を超えた課題。こういう窮地の中、大きな助けの手。主力の派遣事業所が3人専従で24時間介護を組んでくれたのです。

1人が10時から翌日10時の24時間介護に入り、介護明けはホテルに泊まる。介護中ヘルパーは、防護服に医療用マスク着用。私は奥の部屋で過ごし、中の部屋とはもともどあるアコードィオンカーテンを閉め、中の部屋から台所、玄関へは扇風機で換気。食事は、知人が私の好物を昼前2回分差し入れくれました。幸い無症状で食欲はあり、美味しく頂きました。

そして無症状のまま、10日間の自宅療養期間が過ぎ、保健所からPCR検査なしに外出可の許可。ただ、介護に入って頂いたヘルパーは、最後の介護日から14日間は濃厚接触者として、引き続きホテル滞在を余儀なくされました。このことは本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

最後に、改めて、ご支援頂いた方々に感謝いたします。

今回は実際にコロナに感染された当事者のかたに手記を書いて頂きました。
匿名で、とのご希望に沿い原文のまま掲載します。

東日本大震災から11年

“思う”と“動く”的のあいだで

元被災地障がい者センターみやぎ代表
及川智



ゆめごよみ風だよりを通じてまた皆様のお目にかかる事と、また東北に心を寄せ続けていたとしていることに心より感謝いたします。原稿依頼をいただき、今私が書く意味を考えたと同時に「今さら私が…」という気持ちもありましたが、今思うことを書いてみようと思っています。

東日本大震災当時、仙台の自立生活センター「C—Iしたすけっと」の代表を務めておりました。発災直後避難所にいられず事務所に戻りました。いち早く支援拠点として物資の受け渡しを始めたのは、「ゆめ風ネット」だったことも大きかったと思います。八幡さんに入っていたとき「被災地障がい者センターみやぎ（センタームやぎ）」を発足しました。「元

に戻すのではなく、よりよく」と。センターみやぎ3年間の活動は全国の支援に支えられ、①人材、物資、金銭支援 ②拠点整備 ③要望・提言 ④「逃げ遅れる人々」上映キャラバン ⑤ともに生きる石巻連続講座等々多岐にわたります。活動を全国各地で報告する機会もたくさんいたり、各地の方々と交流しました。

各地のダイナミックでエネルギーッシュなパワーに接したことは私の大きな財産となっています。

一方で私自身のこととしては、日々の動きに追いつくことがやつと、いや、追いつけていなかつたようになります。代表ではありました

が、様々な情報・状況を咀嚼しきれりながら、日々走り回っていました。各地で見聞きしたことを地元に還元する

ありがとうございました。

ことを期待されていたと思いますし、私自身もそのように“思って”いましたが、そうしたことをどれだけできたのかというと不十分だった面もあるように思います。

当時から指摘されていた課題は、センターみやぎの拠点だったC—Iしたすけっとの解散ということにつながってしまい、なんとも忸怩たる思いがあります。が、センターみやぎの活動から誕生したNPO法人が現在も現地で活動しており、時に交流し共に活動しています。当時取り組んだ避難所などの課題も全国的にも積み残ったままです。こうした課題に関心を寄せ続けていきたいと思います。

震災から11年

C-1「もりおか
川畑 昌子



2011年3月11日午後2時46分に東日本大震災が発生し、多くの方が犠牲になりました。

震災後まもなく、「全国自立生活センター協議会」「DPI日本会議」などの障害者当事者団体と、「ゆめ風基金」の協議により、「東北関東大震災障害者救援本部」が発足しました。その現地活動の拠点として、被災地障害者支援センターふくしま、被災地障がい者センターみやぎ、そして4月12日、被災地障がい者センターいわてが立ち上がりました。福島、宮城とも自立生活センターの当事者がキーマンとなっているため、岩手の場合もC-1よりもおかれゆめ風基金から呼びかけがありセンターを立ち上げました。

被災地障がい者センターいわては、故、今川幸子さんが代表を務めました。全国各地から集まつたボランティアと共にC-1もりおかの事務所とは少し離れた場所に事務所を

TRYとは、車椅子で野宿しながらバリアフリー化を求めるイベントです。そのTRYを被災地岩手県で実現したのが『みちのくTRY』です。

『みちのくTRY』の目的は、失われた人たちの命に対する追悼、ゆめ風基金から呼びかけがありセンターを立ち上げました。

そして残された人たちの未来を切り開くため、建物のバリアフリーチェックをして改善を求め、誰もが安心して暮らせる新たな街づくりの要望です。

震災の被害が大きかつた宮古市

借りて活動を始めました。被災地をまわって、困っている障害者を探すことから活動ははじめました。被災地支援に取り組んで来た皆の活動の集大成として、TRYをやろうと決意したのは、2012年3月末でした。被災地障がい者センターいわて、みやこ、かまいしが中心となり、みちのくTRY実行委員会が結成されました。

この時期の活動がきっかけで、のちに沿岸の施設から地域へ自立生活に移行できた方、当事者活動を軌道に乗せた方、自立生活を目指す方も現れました。この千にひとつのかつけを大切に大切に、希望する自立生活に移行できるように今後も応援を続けます。

まもなく震災から11年になろうとしています。亡くなられた方、関連で犠牲になられた方。そして、震災直後から、被災地支援に駆けつけてくれた全国の皆さんに想いを馳せて

借りて活動を始めました。被災地をまわって、困っている障害者を探すことから活動ははじめました。

沿岸部被災地は特に障がい者にとっては住みやすい環境とはいえない人も、汗をかき、寝食を共にしながら歩きました。

沿岸部被災地は特に障がい者にとっては住みやすい環境とはいえない人も、汗をかき、寝食を共にしながら歩きました。

障害者が 生きるとは

後編



倉田 哲也
くらた てつや

1966年11月22日生まれ。1ヶ月の早産で母体から逆子で生まれ、へその緒が首に巻き付き、呼吸が出来ず脳障害をおこし手足の一部に麻痺を残す。手が使えない為生活の全般を足で行う。1972年より県立支援学校で生活を始める（幼稚部・小学部・高等部計13年間）。1985年4月高校卒業後、「くまもと「障害者」労働センター」に入る。1990年6月二代目代表に就任。2004年6月自動車運転免許取得。日本初、足でハンドル操作式運転。現在は熊本市でホームヘルパー制度を利用しながら暮らしている。

子ども達に伝えたいこと

両手にまひがある私は、足で全てをこなします。特別なことだと思われそうですが、スマホの操作やひげそりなど皆さんが手でやることを足でやっていけるだけなのです。

人権学習の講演で小学校を訪れると、子どもたち

はざわづきます。「変な人」「ヤバくない?」…。発

語にもまひがある私が「ここにちは」とあいさつす

自分と違うものがある人との出会いが、想像力を高めます。いろいろな人と一緒に生きてきた人は、自然と相手を思いやることができるのでしよう。だから私たちは、障害があつても閉ざされて暮らすのではなく、地域の中で生活したいと願ってきたのです。子どもたちにはぜひ「想像できる人」になってほしいです。

命はみんな平等

相模原市の知的障害者施設で入所者19人が殺されました。

犯行の動機は「重度障害者は周囲を不幸にする不要な存在」と考えるようになり、殺害すれば自分の考えに賛同が得られ、先駆者になれると考えた」。そんな考え方で凶行に及んだ男を到底、許すことはでき

とまたびっくり。食事や買い物、車の運転も足でやつてしまふ姿を見ているうちに、笑顔の輪が少しずつ広がります。

運転免許を取得する前、私も「どうせ手が不自由だから無理だ」と思っていました。しかし、技術の進歩や仲間の励ましが背中を押してくれ、チャレンジできました。皆さんは自分の限界を決め付けていませんか？

子どもたちにはこう伝えます。「せっかくなら挑戦してみよう」

想像できる人に

私は公共交通を使って、よく一人旅に出掛けます。しかし、空港での応対は、なかなかスマートにはいきません。一人旅だと伝えると、「介助者の方はいいのですか？」と問い合わせられます。搭乗した実績があるのに「シートベルトを自分で着脱できないと乗れません」と言われ、事実上の『搭乗拒否』に遭つたこともあります。

係の人は型通りに応じていているのですが、そのマニュアルを作る際、私のように手が使えない障害がある乗客のことを想像したのだろうか、と疑問を抱きます。想像できていたら当然、障害のある人の意見を参考にしてマニュアルを作るでしょうし、そうすれば搭乗拒否は起きなかつたのではないかと思うのです。

かつては「不幸な子どもの生まれない運動」が公然と行われていました。兵庫県は1960年代、障害児を「不幸な子」として扱い、出生前診断などを推奨。差別思想に基づく運動は、他の自治体にも広がりました。

第二次世界大戦中のドイツは、ユダヤ人を大量殺害しました。2019年に訪ねたポーランドのアウシュビツ強制収容所で聞かされたのは、ユダヤ人の前に障害者を虐殺した事実です。ガス室だった場所に立つた私は、こみ上げる怒りや悔しさに震えました。

しかし、残念なことに障害者を人として見ない社会は、いまだに続いています。障害がある子どもを産まない選択をする社会ではなく、障害があつても安心して子どもを育てられる社会であつてほしいと強く願っています。

たとえ寝たきりでも、言葉が出なくても、人は人として等しい。基本的人権をうたう憲法十一条を、私は「価値の無い人間はない。存在そのものが尊敬すべきものである」と自分なりに言い換え、その重みをかみしめています。

人はそれぞれに違う個性を持っていますが、命はみんな平等。自分の命も、他人の命も大切にしてほしいのです。

BCP

事務局長 八幡 隆司

福祉事業所の事業継続計画

昨年は福祉事業所の報酬改定に伴い、事業継続計画（BCP）策定が義務付けられました。3年の猶予があるので、2024年3月末までが策定期限となっています。

今回はこの福祉事業所のBCP策定について解説します。

わかりにくい厚労省ひな型

事業継続計画といつても何に対する備えなのかはいくつも種類があります。よくあるのは地震や風水害などの自然災害に対する備えですが、最近では新型コロナに対するBCPもよく作られています。2種類のBCP策定のための「ひな型」とその研修のための動画が厚生労働省のホームページにのっています。

自然災害のためのBCPを例に挙げると、書き込むページが26ページもあり、これ必要かなあと疑うページがいくつもあります。これを記入する上での解説書も準備されています。その中にBCP策定のフローチャートが書かれているのですが、これについても項目が多く対応が困難だと思われます。

事前対策と毎年の研修が肝心

私たちは2014年から「BCP研究会」を立ち上げ、毎月勉強会をしています。その中で話したのは、BCPはできるだけ簡略なものが良いことと、どれだけ災害が起る前に準備しているかが大事だということです。

実際に災害が起こってしまえば、災害の種類、規模などに応じて臨機応変に対応することが求められ、マニュアルないことが色々と起こります。マニュアルには最低限のことが書いてあればいいと思っています。

最近自治体の中には避難所開設キットを準備しているところもあり、誰もがそれを見て避難所を開設できるように手順が書いてあるファイルを1つの箱の中に

置いています。BCPについてもこのようなキットを作ればよいのではと考えています。

解説動画を作りました

昨年11月に大阪府茨木市で各事業所が

BCPを作るので、厚生労働省のひな型の解説をしてほしいという依頼がありました。その講演がかなり好評だったこともあって、多くの事業所がBCP策定義務付けで苦しんでいることを実感しました。

ゆめ風基金としてBCP策定をもつと

実用的に広めていきたいと感じ、ひな型の解説動画を作ることにしました。福祉事業所の方や興味のある方はご覧ください。（ゆめ風基金のHPから「障害者防災」をクリックすると見られます）



創業者の想い



NPO 法人自立支援センター
ぼほら
歩歩路 理事長
たにぐちりょういち
潤口 良一

当法人創業者は私の女房ですが、6年前に他界し急遽「福祉ど素人」の私がこの事業を引き継がねばならなくなりました。法人は17年目になりますが創業前の平成14年10月に札幌市で「第6回 DPI 世界会議」が開催され女房は福祉の道にのめり込んでしまったようです。それまでは土建業を興していたのですが、バリアフリーの言語が世に出てきて障害者的心地よい住まいとは何かを求めて障害当事者の方々に直接聞くことから始まり、身も心もそちらに傾いて自分で福祉事業所を立ち上げ、とくに重度心身障害の方々が地域に根ざすこととは自立生活を進めることだとして今日の歩歩路があります。

私はど素人だけに DPI 北海道の皆さんとの勉強会でメンバーの方々に「共存の基礎」を学んできました。そんな矢先に平成30年9月6日未明の「北海道胆振東部地震（震度6弱）」で共同住宅、就労、児童、本部事務所の建物が被災し、改修不能で取り壊すという選択しかありませんでした。職員・利用者さんの惜しみない協力で日々の療育、支援を止めることなく、とにかく場所探しに奔走し3カ月程かかりましたが、何とか年越しまでには間に合い新住居、テナント等の確保ができました。

問題は資金繰りがすっかり後回しで頭を悩ましていましたが、DPI 北海道のメンバーさん達から「ゆめ風基金」があるから聞いてみな！って言われ問い合わせすると当時の事務局長さんからすぐ申請してください、とのこと。素早い対応と決定に本当に有難く思いました。創業者の想いが他界後も DPI 会議との橋渡しと共に繋がっていることに感謝し今後も大事にしているといつも思っています。

応援団から こんなにちは！ vol.1

募集することにしました。それが「ゆめ風応援団」です。
そこで、いざ、災害が発生したときに「地域単位」で情報収集していく団体を

今回から「ゆめ風応援団」のみなさんに自己紹介をかねた原稿を
いただきました！

日々の活動が 防災力につながると信じて



自立生活センター 自立の魂
たましい
～略して じりたま！～
おの かずよし
小野 和佳

みなさんこんにちは！

自立生活センター 自立の魂 ～略して じりたま！～の小野和佳と申します。私は、神奈川県横浜市で生活をしております。日常生活では車いすを使用しています。

じりたまでは障害当事者スタッフが中心となり、各自の経験を活かして障害者の自立生活をサポートしています。

出身地である福島県いわき市在住時に経験した東日本大震災には、あらためて気づかされたことが多くありました。「災害に備えるためには日頃からの地域との繋がりが大切です。」この言葉を災害が起きる度に耳にし、私自身も何度も伝えてきました。ですが、「自立生活センター」というのは、障害者と地域とのつながりをつくるために活動しているのではないだろうか。」「緊急時にこそ平常時の活動の結果が何かのかたちになって出てほしい。」と、考えるようになりました。その為には、障害者の困りごとを発信するだけではなく様々な立場の人達と話し合い、考える時間が大切だと思い、じりたまでは「障害者エンパワメントプロジェクト2020」を立ち上げ、福島県の自立生活センターの皆さんと活動をしています。詳しくは「じりたまホームページ」をご覧ください。

平常時に障害の有無を問わず分け隔てなく関われる環境をつくることが防災力につながると信じて楽しみながら活動をしています！

カンパをいただいた団体

お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザーやイベントで集めてくださったりしています。

本当にありがとうございます。(もし掲載漏れがありましたらどうかお許しください)

9/3	三角ベース (国東市)
9/9	千里寺 (吹田市)
9/16	坂町心身障害児者ゆずりはの会 (安芸郡)
9/17	吉田町手をつなぐ育成会 (宇和島市)
9/17, 10/19, 11/19, 12/6	健康アメニティたのし (新宿区)
9/22	プロ・リズム (足立区)
9/28, 12/14	得雄寺 (南松浦郡)
9/24	CIL 松山、いーはとーぶ (さいたま市)
9/30	いるか設計集団 (神戸市)
10/4, 10/15	だて地域生活支援センター わかば会 (伊達市)
10/6	百合の樹 (横浜市)
10/7	フジテクノ (川越市)、パルすみのえ (住之江区)
10/15	ちくほう共学舎虫の家 (鞍手郡) みんなのかえるランド (小郡市)
10/21	コーヒータイム (二本松)、妙元寺 (名古屋市)
11/3	和太鼓連うてな (東京都)
11/12	柴山治療院 (福井県)

2021/09-2021/12

11/26	自立生活センター松山 (愛媛県)
12/13	京都聖マリア教会婦人部 (右京区)
12/14	でんでん虫の会 (加東市)
12/16	ベルーカテナ (越谷市) 桜の実幼稚園 (武蔵野市) ミニヨンペットショップ (川西市)
12/17	フレッシュ・シンガーズ (松戸市)
12/20	太刀洗町障がい児者親の会ぽけっと (福岡県) 大阪聖ヨハネ教会 (中央区) なかのきみよし法律事務所 (大野城市)
12/21	ヌヴェール愛徳修道会 (伏見区)
12/22	清心中学校・清心女子高等学校 (倉敷市)
12/23	日本聖公会大阪教区婦人会 (阿倍野区)
12/24	豊中友の会 (大阪府)、キム診療所 (東成区)
12/27	ネットきくがわ (静岡県)
12/28	聖愛園 (東淀川区)
12/30	燐然会 (大阪市)

事務局の動き

2021年9月から12月の動きを一部ご紹介します。

毎週月曜日

事務局会議

9/6, 10/5, 11/2	防災検討会議
9/15	京都三条ラジオカフェ出演
9/17, 9/30, 10/15, 11/19	ポジティブ交流祭実行委員会
9/18	CIL富山講演 (WEB)
9/20	御殿場自立支援協議会ビデオ講演
9/22, 24	96号発送作業
9/22	BCP (事業継続計画) 会議
10/15	ポジ祭事前会議
10/18	むくのき学園出前授業
10/23	近畿ろうきん「サポートV」10年イベント
10/27	西淡路小学校出前授業
11/2	障害者防災会議、摂津市教育委員会講演
11/6	震災体験講演
11/10, 12	柴島中学校 中学生プロジェクト
11/10	97号編集会議

11/12	OSN (大阪災害ネットワーク) 三者連携会議
11/15	OSN会議 (WEB)
11/16	大分県社会福祉協議会講演 (WEB)
11/17	茨木市立東雲中学校講演
11/20	茨木市長寿介護課講演
11/22	イタリアに学ぶ防災
11/23	ポジ祭 (WEB)
11/29	阿倍野区自立支援協議会講演
12/8, 9	97号発送作業
12/2, 3	摂津二中・中学生プロジェクト
12/15	理事会
12/17	AAR (難民を助ける会) 講演 (WEB)
12/21	西区社会福祉協議会講演 (WEB)
12/24	田辺三菱製薬労働組合様来所

NPO 法人 ゆめ風基金 会計報告 ただいまの基金額 311,124,826円 貸付金の残高 0円
 これまでの救援金・救援活動費総額 573,693,725円 総会員数 14,625人

		前回報告残高 2021年9月現在	この3ヶ月の動き 10月から12月まで	今回報告残高 2021年12月現在
収支計算書	収入の部	会費収入	33,632,392	5,601,637
		寄付金収入	10,583,034	8,311,991
		臨時寄付金収入	4,539,000	30,000
		助成金収入	414,840	200,000
		事業収入	243,606	467,300
		雑収入	134,120	119,316
		貸付金返済収入	16,808,000	16,808,000
		保証金返済収入	0	0
		預り金収入	1,511,007	538,827
		未収入金収入	0	0
	支出の部	未払金収入	0	216,720
		合計	67,865,999	15,485,791
		救援金支出	5,202,800	5,435,000
		救援活動支出	0	0
		貸付金支出	0	0
貸借対照表	資産の部	基金拡大活動支出	469,459	152,095
		防災活動事業支出	339,245	142,638
		広報活動事業支出	970,163	737,908
		その他事業支出	794,880	271,980
		人件費支出	8,524,218	3,152,780
		その他事務費支出	3,934,787	1,420,863
		預り金支出	1,686,868	403,267
		未払金支出	283,103	400
		固定資産購入支出	0	0
		保証金支出	0	0
		合計	22,205,523	11,716,931
		差引：収支差額	45,660,476	3,768,860
	負債の部	基金特別会計預金	306,692,259	4,432,567
		一般会計現金預金	1,553,863	663,707
		[現金預金合計]	308,246,122	3,768,860
		障害者貸付金	0	0
		有形固定資産	1,226,013	299,851
		その他の資産	1,245,826	70,048
		合計	310,717,961	3,539,057
		未払金	0	216,720
		預り金	102,475	135,560
		その他の負債	400	69,600
		合計	102,875	421,880
		差引：正味財産	310,615,086	3,117,177

脚注 1. 今回は10月から12月までの3ヶ月間の報告です。

2. 年間を通じて見直した部分があるので

9月までの報告と若干科目の修正があります。

3. 救援金は6件の支払いがありました。

4. その他は特に大きい変動はありません。

災害別の救援金総額 以前に他の災害でお届けした救援金はゆめ風 WEB サイトとブログに掲載しています

東日本大震災

344,554,224円

2016年熊本地震

55,598,387円

2018年西日本豪雨

45,164,095円

令和3年8月豪雨

3,000,000円

そよ風、つむじ風、六甲おのこ

各地からの風だより

2021.9 - 2021.12

- ◆ 口口ナ禍で施設面談がストップしてしまった。いろんな口が早く終わらなくてよしに(北見市) ◆ 誰もが、生き抜ける社会を!細く長く、ゆめ風基金といながっていきたいと願つます(金沢市) ◆ 寄付できていなかつた期間も広報の送付を続けて下さり有り難うござります。久しぶりにお送りします(八尾市)
- ◆ 政府は人命より金の方が大事(武蔵野市) ◆ まだまだ支援させていただきます(那須郡) ◆ 各地からの善意の風だよりに救われる思いです(若国市) ◆ 口口ナに災害、気がめいるいとばかりですが、臨時収入がありましたので送ります(諫早市) ◆ 81歳になりましたので、今回を最後に…。皆様の活動の発展を祈っています(鳥栖市) ◆ いつも通信に励まされてます。ありがとうござります(牧方市) ◆ ゆめ風だよりありがとうござります。「苦しげ時に視野を広く」心に染み入りました(島本町) ◆ ガラパゴスさんの「無事に日常を過ごしたい」という記事の後に、又被災されたことを読み、心が痛みます。少額ですが支援になればと思います(手塚市) ◆ 見て見ぬふりは出来ないので僅かですがお送りしました。領収書不要です(川崎市)
- ◆ 96歳の内田理事の話に心をさせられました。「一人ひとりのと仲間とつながる」とつなやかに生きる言葉にパワーをいただきました(奈良市) ◆ 今年も残り少なくなりました。新しい口口ナが見つかりましたがどうぞ皆様はお元気でお過りください(三鷹市) ◆ 平穏な生活が長く続きます様に。少しですが誕生日の記念として(太田市) ◆ 地域社会の繋がりの大切さ、実感します。顔見知りになること、助けてくれる人がいると思える事等安心できる関係づくり、大切ですね(高市郡) ◆ 特に女性障害者のためにお使いください(京都市) ◆ 災害が多く、その上口口ナ。どうか希望を失わずに。応援していきます(横須賀市) ◆ 困り(?)とが表に出る事が大事ですね。冊子をいただきました度に、知らずにすませてしまつてしまふを思います。たまつた(?)とでも、まず思つ(?)と、考える事(甲賀市) ◆ 口口ナがおさまらないまま困つている方は増えるばかり。口先だけの政治より実行を願うばかりです(横浜市) ◆ 全ての人が平和な2022年であります様に(長岡京市) ◆ 一人暮らしの高齢者です、今年もまたやかな気持ちを送りました(松戸市)

ゆめ風ブログ (<https://yumekazek.com/blog/>) にも掲載しています

編集後記

昨年クレジットカードによる寄付を開始し、多くの方からご寄付をいただき感謝しております。そしてご要望が多かった毎月、あるいは毎年の自動引き落としにも対応できるようになりました。ゆめ風基金に寄せられた寄付については確定申告ではなく還付申告ですので、5年間にさかのぼり控除が受けられ、いつでも申告が可能です。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。(事務局)

ゆめ風ネットワーク連絡先 [faxは06-6321-5662迄]

さっぽろ 011-817-9080 秋田 018-846-3916 みやぎ 0220-44-4171 いわき 0246-68-8925 新潟 025-232-7522 三条 0256-34-2448
 JDS(東京) 03-6907-1824 東大和 042-567-2622 立川 042-525-0879 横浜港北 045-431-4070 千葉 047-485-1245
 埼玉 048-738-4593 上田 0268-39-4568 静岡 054-288-6068 きくがわ 0537-35-8303 本庄 0495-24-8902 愛知 052-841-9888
 名古屋 052-745-1001 岐阜 058-388-1864 加賀 076-243-6786 富山 076-444-3753 福井 0776-52-6464 三重 059-202-5782
 滋賀 077-543-2844 JCIL(京都) 075-671-8484 奈良 0745-42-2919 和歌山 0734-72-6731 伊丹 0727-79-1771 ひょうご 078-642-0142
 はりま 0792-84-4668 淡路島 0799-70-6145 明石 078-913-5315 しまね 0854-83-2183 かがわ 0877-73-4177 愛媛 089-924-8533
 まつやま 089-986-3245 今治 0898-54-4365 徳島 088-602-1003 岡山 0866-97-0206 ひろしま 082-294-4185 尾道 0848-38-9551
 やまぐち 0833-76-0550 福岡 094-962-6003 大分 097-597-5315 宇佐 0978-32-3365 なかさき 0957-46-3858 諫早 0957-28-3800
 さが 0952-74-4568 熊本 096-366-3329 みやざき 0985-31-4800 かごしま 0994-63-8855 沖縄 0988-90-4890